



康心会汐見台病院 産科だより

令和2年

◆自身のからだを慈しむ！

慈しむ（いつくしむ）とは、「可愛がる」「大切にすると」という意味があります。9月から、

自身のからだを慈しんでほしいという願いを込めて、産婦人科外来の一角にからだを大切にす

るための情報を掲示したコーナーを作りました。担当は、以前にも産科だよりを担当したことのある助産師の石井です。

慈しむと言ってもどういうことなのか・・・。

例えば、朝ごはんはきちんと食べていますか？便は出ていますか？きちんと朝は起きられていますか？夜遅くまで起きているのが日常になっていませんか？など・・・。別に平気だよ、いつものことだよって思う方もいらつしやると思いますが、基本的な生活を直すことで、体調も変わってきます。夜勤の多い私ができることは、夜勤をするようになって、「朝起きて夜寝る」という当たり前のことがすごく大事だと実感していることです。そして、せめてものと思い、なるべくは自炊をするようにと心がけています。外来の待ち時間、新しいコーナーを是非ご覧下さい。



◆ベビーセンサー

当院では以前から新生児の体動を感知することができセンサを使用しています。今年から新しいものに変更したので、少しご紹介いたします。

新生児は、胎児期には臍帯（へその緒）から流れてくる血液で酸素をもらって呼吸をしていますが、産まれた瞬間から自分の肺で行う呼吸に切り替わります。しかし、産まれたばかりは自分で呼吸することに慣れていないので、早くなったり、ゆっくりになったりと不規則な呼吸をすることがあります。時には一時的に無呼吸を起こすこともあります。そのため常に赤ちゃんの呼吸状態を観察できるように、当院では赤ちゃんの安全管理の為にセンサーを使用しています。



響はなにもありません。

↑このようにセンサーは新生児用のベッドの背中部分に検出マットを布団の下に敷くだけなので、赤ちゃんへの影

赤ちゃんを抱っこする時にスイッチを押して作動を一時中断、抱っこや授乳が終わったあと、赤ちゃんを寝かせるだけで再び自動でスイッチが入るので、スイッチの押し忘れはありません。赤ちゃんの体動が感知できなくなると15秒経過すると、大きなアラームが鳴って知らせてくれます。使い方は母子同室指導で行います。合わせて、定期的な巡視も行い、安全確保に努めています。

◆今月の赤ちゃん



令和2年9月26日
2905g 女の子

初産婦さんですが、分娩所要時間9時間31分と順調に進行したお産でした。入院中は混合栄養でしたが、2週間健診も終えた現在は母乳のみになりました。ママの頑張りが結果として表れてよかったです。

◆編集後記

今年もインフルエンザの予防接種の受付が始まりました。詳細は当病院のホームページでご案内しています。原則予約制になっておりますのでご注意ください。

担当：郷原

